



## 9月定例会 9月1日～19日

### 主な内容

- 本会議のあらまし ..... 2
- 決算委員名簿 ..... 2
- 質疑 ..... 3～4
- 意見書 ..... 4・6
- 一般質問 ..... 5～10
- 委員会審査 ..... 11
- 審議した議案とその結果 ..... 12

9月定例会

入学金貸付条例の一部改正ほか

原案のとおり可決

本会議の  
あらまし

九月定例会は、九月一日から十九日までの十九日間の会期で開かれました。



9月定例会で議案説明する市長

初日には、まず、平成十九年度の決算認定議案が上程され、一般会計及び各特別会計（委員十一名）、企業会計（委員九名）の決算特別委員会を設置し閉会中も継続して審査することになりました。

続いて、地方自治法の一部改正に伴う条例及び議会会議規則の改正案二件を可決しました。最後に、議案第七十三号から議案第八十一号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

三日には議案第七十三号から議案第八十一号までに対し、四名の議員が質疑を行い、各議案を所管の常任委員会に付託しました。

四日・五日・八日・九日には一般質問が行われ、十五名の議員が市政全般について質問しました。

議案の細部にわたる委員会審査は十日に都市経済、教育民生、十一日に総務、生活環境と順次付託議案を審査しました。

十九日の最終日には、所管の委員会に付託していた議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認の報告がありました。これに対し、質疑、討論もなく、いずれも委員長報告

決算

一般・各特別会計  
企業会計

決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に

審査結果は、十二月定例会で委員長から報告されます。

なお、各決算委員会の委員には次の議員が選ばれました。

（◎委員長 ○副委員長）

一般会計及び各特別会計  
決算特別委員会

- ◎大前 誠治 ○亀野 忠郎
- 松永 恭二 三宅 真弓
- 尾崎淳一郎 浜西 和夫

企業会計

決算特別委員会

- ◎北山 齊伯 ○小野 健一
- 小橋 清信 高田 重明
- 山本 直久 岡田 健悟
- 引田 忠温 田中 英雄
- 小鹿 一司

議会の傍聴を

みなさんが選んだ議員の活動や、行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

会議の当日、本館二階傍聴受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。詳しくは議会事務局まで。

（☎二四一八八二八）

丸亀市のホームページを  
ご覧ください。

議会日程、提出議案・審議結果、一般質問の内容、また議員名簿等を掲載しています。

# 質疑

## 質問者・項目

太字の項目は本文中に  
要約文を掲載

### 三木 まり

①一般会計補正予算（コミ  
ユニティ費、防災費、債務  
負担行為補正）②公共下水  
道特別会計補正予算

### 倉本 清一

①一般会計補正予算（保育  
所費）②公益法人等への職  
員の派遣等に関する条例及  
び職員定数条例の一部改正  
③入学金貸付条例の一部改  
正

### 中谷真裕美

①一般会計補正予算（債務  
負担行為補正）②入学金貸  
付条例の一部改正

### 内田 俊英

①一般会計補正予算（まち  
づくり交付金）

## 防災資機材

## 地域の整備状況は

◎三木議員 防災費の補正予  
算で、投光器や発電機、炊き出



コミュニティでも防災訓練を実施しています

しまど等の災害用資機材が、  
財団法人自治総合センターの助  
成を受け、土器コミュニティセ  
ンターに設置される。地域の整  
備状況に差があるが、市内のコ  
ミュニティセンターへの設置状  
況及び設置基準はどうなってい  
るのか。また、資機材を使いこ  
なすためには防災訓練が必要と  
考えるが、防災訓練の現状及び  
今後の方針を伺いたい。

△消防長 過去の災害を教訓  
に地域防災力を強化するため、  
本市では平成十四年度から十九  
年度に、コミュニティが要望す  
る防災資機材二十五万円を全  
コミュニティに配付してきた。

また昨年から  
は、社会福祉協  
議会でもコミュ  
ニティに対し、  
防災資機材の購  
入助成をしてい  
る。今回設置す  
るのは、土器コ  
ミュニティから  
要望があったも  
ので、宝くじの  
普及広報事業の  
一環で購入する  
ものである。他  
のコミュニティ  
も要望を開きな  
がら、この事業を活用すると  
もに、計画的な資機材等の整備  
に努めたい。また本年度、防災  
訓練は七地区のコミュニティと  
四地区の自治会で実施したが、  
未実施の地区についても、避難  
訓練の実施をお願いしている。  
今後、全地区のコミュニティで、  
防災訓練を実施できるように努  
力していきたい。

## ドルカス保育所 増築計画について

◎倉本議員 ドルカス乳児保  
育所の増築に当たり、市が千六  
百万円余りで購入する用地五百

二十九平方メートルの算出根拠  
及び建屋の計画について伺いた  
い。次に、飯山南・北幼稚園で  
実施している預かり保育の廃止  
に伴い、飯山南・飯山北第一・  
ドルカス乳児保育所で児童を受  
け入れる計画だが、どのような  
方針で進めているのか。またこ  
の受け入れで、ドルカス乳児保  
育所の定員は六十名増となるが、  
保育士の配置計画について考え  
方を伺いたい。

△副市長 飯山地区の公立保  
育所では、預かり保育の児童を  
受け入れるには保育室が不足し  
ていたが、ドルカス乳児保育所  
で六十名の定員増してもらえ  
ることになった。そこで、市が園  
舎増築用地を確保することにな  
ったが、

購入する  
用地の単  
価算出に  
当たって  
は、近隣  
地区内の  
取引事例  
や公示価  
格を参考  
に一平方  
メートル  
当たり三  
万四百円

と算定した。増築する建屋は、  
四、五歳児を対象に六十名の定  
員増ということから、保育室二  
室とトイレ、給食調理室のある  
平屋建てを検討中で、平成二十  
一年度の完成を目指している。  
また、合併後の飯山地区の幼稚  
園の預かり保育の児童数から、  
飯山の三保育所に残る児童は百  
八十名程度と予測している。そ  
のため、各保育所に六十名程度  
配置する計画である。保育士に  
ついては、保育の対象年齢の引  
き上げから、経験豊富な保育士  
の確保・配置が重要になるが、  
ドルカス乳児保育所の運営母体  
は市内三つの認可保育園で四、  
五歳児の保育の経験があり、十  
分対応できると考えている。



先生のお話を熱心に聞いています

